

臨床検査専門科目	生物化学分析検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	生物化学分析検査学特論					
担当教員	◎ 近藤明 中村彰宏					
目的	生体内の物質を定量的に取り扱う臨床化学的検査を中心に、得られた結果を診断・治療へと導く際に重要となるポイントを総括的に学習し、それらの関連性を理解する。					
目標	国家試験対策を念頭に置きながら、臨床検査の現場での応用力が身に付くようにする。					
他科目との関連	臨床検査医学総論、臨床免疫学、公衆衛生学					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験と毎回のショートテスト				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	臨床検査学講座 臨床化学検査学 著者：浦山ら 出版：医歯薬出版株式会社 シンプル衛生講習衛生学 出版：南江堂 標準臨床検査学 臨床検査総論 出版：医学書院					
参考資料	イエロー・ノート、グリーン・ノート（メジカルビュー社）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	臨床化学検査学各論と3回生の年度末に渡した記憶カードの内容をしっかりと覚えたいうえで授業に参加すること。また、臨床検査医学総論、尿一般検査学を復習しておくこと。					